



復興庁

Reconstruction Agency

第39号

平成27年12月16日発行

宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣3-5

気仙沼市シルバー人材センター内

つちおと

11/24(火)

11/25(水)

～高木復興大臣が南三陸町、気仙沼市を視察！～

○高木^{つよし} 復興大臣が、11月24日に南三陸町を、25日に気仙沼市を視察いたしました。

南三陸町においては、防災対策庁舎において犠牲者に黙礼後、志津川地区土地区画整理事業の進捗状況や、完成した南三陸病院・総合ケアセンター南三陸を視察し、町役場において佐藤町長と意見交換を行いました。気仙沼市においては、南気仙沼地区土地区画整理事業の進捗状況、南郷地区災害公営住宅を視察し、大谷海岸周辺とその整備に係る県、市の計画案や地元住民の要望内容を伺いました。

10月の安倍内閣改造で就任された高木大臣にとって、南三陸町、気仙沼市については、初めての視察であり、各市町の現場の状況をしっかり見ていただきました。大臣からは、着実に復興が進んでいるという実感を得ながらも、まだ復興道半ばであり、これからも各市町に寄り添いながら復興の御支援をしていきたい、復興の更なる加速化に向けて全力投球していきたい、とお言葉をいただきました。気仙沼支所としても、引き続き復興の加速化に取り組んでまいります。



志津川地区土地区画整理事業を視察する高木復興大臣



大谷海岸を視察する高木復興大臣

◆2015年も残すところあとわずかとなりました。今年一年、関係者の皆様には、大変ご苦勞をおかけしました。特に、今年は、「平成28年度以降5年間を含む復興期間の復旧・復興事業の規模と財源について」（6月30日閣議決定）の決定等、大変重要な年でありました。

また、復興交付金については、今年3回の交付額通知が行われ、12月1日には、第13回目の申請に対する交付額通知が行われたところです（11回目：2月27日、12回目：6月25日）。

今年一年の御苦勞に感謝するとともに、来る年の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

今回が、今年最後の発行となります。来年もご愛読のほど、よろしくお願い致します。（檜）

～ 進む震災復興! ～

気仙沼市では、住まいの復興が目に見えてきました。防集事業による宅地造成が完成して自宅再建に移りつつある地区（11月末）を紹介いたします。



もうね いっく
・ **舞根1区地区**：唐桑半島付け根に位置し南に宿舞根漁港を望む。平成27年9月引き渡し20区画中10戸建築。



おおうら
・ **大浦地区**：気仙沼湾東の高台に位置し、県道大島浪板線（工事中）から接続する。近傍に三陸沿岸道ICも設置予定。平成27年9月引き渡し25区画中9戸建築。



くじょう
・ **九条地区**：市誘導型防集（公募型）第1号の引き渡し、戸建災害公営住宅併設、平成27年4月引き渡し14区画中8戸建築。



なみいた
・ **浪板1忍沢地区**：西に鹿折川を望み、県道大島浪板線（工事中）が団地内を通る。近傍に三陸沿岸道ICも設置予定。平成27年8月引き渡し7区画中5戸建築。



まつい わみなみ
・ **松岩南地区**：市誘導型防集（公募型）で松岩小学校東に位置し、平成27年6月引き渡し7区画中2戸建築。



おおやだい
・ **大谷第2（大谷南）地区**：南に太平洋を望む高台にあり本吉地域東に位置する、平成27年8月引き渡し6区画中5戸建築。

11/30^月

～気仙沼・南三陸地域新米（復興米）試食会！～

11月30日、JA南三陸本吉支店において、「気仙沼・南三陸地域新米（復興米）試食会」（農地災害復旧復興事業推進協議会主催）が開催されました。生産者、関係者の皆さんが大勢集まり、農地の復興が進んでいることを実感しました。

この新米は復興交付金を活用した「農山漁村地域復興基盤総合整備事業」（ほ場整備）により再編した農地において、本年度に作付けを開始・収穫されたものです。（本誌つちおと37号、33号でも田植え・稲刈りの様子を掲載して参りました。）



試食会の様子



6工区の新米それぞれを味わう

震災後初の作付けとなったのは6工区（気仙沼市の田の沢、最知、南三陸町の田表、在郷、西戸川、板橋）。収穫した「ひとめぼれ」は、工区毎におにぎりにして提供。参加者は新米の香りやつやを確かめながら味わい、「予想以上の出来」「生産者の努力と復興を感じる」などと好評でした。

まだ、作付けに至っていない工区もあと4工区あり、もう一步復興前進へ向けて、気仙沼支所としても協力して参ります。

12/1^火

～第13回復興交付金交付可能額通知！～

10月中旬に被災自治体から提出された復興交付金事業計画に対して、12月1日に交付可能額の通知を行いました。4県に対して通知を行い、その合計の事業費は約1,667億円、うち気仙沼市については、災害公営住宅整備事業、漁港施設機能強化事業、防災集団移転促進事業等に約119億円、南三陸町については、災害公営住宅整備事業、都市公園事業、低炭素社会対応型浄化槽集中導入事業等に約75億円となりました。



住宅再建の中で低炭素社会対応型浄化槽の設置が進む。



工事の始まった防集（浦の浜地区）

これまで、平成23年度から13回にわたって復興交付金の交付可能額通知を行っているところ、気仙沼市は合計事業費で約3,139億円、南三陸町については合計事業費で約1,294億円を配分しています。

また、第14回の事業計画の受付時期は、市町村等の作業状況を踏まえ検討することとしています。引き続き、気仙沼支所としても、気仙沼市と南三陸町の事業計画の策定や事業の実施に協力して参ります。

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【12月29日（火）】志津川湾おすばでまつり復興市 【南三陸町】

震災前から年の瀬の一大イベントとして定着していた志津川湾おすばで祭りが、昨年同様、今年も復興市と合わせて開催されます。当日は地元名産の海産物や農産品を中心とした物産 TENT、飲食ブースが立ち並び復興を目指して元気に市場を開催します。

※おすばでとは、地元の言葉で酒の肴を表す言葉です。

◇ 開始日時 平成27年12月29日（火）8:30～13:30 ◇ 会場 ベイサイドアリーナ特設会場（予定）

◇ 問い合わせ先 南三陸町復興市実行委員会事務局 090-7077-2550

【平成28年1月9日（土）・10日（日）】御崎神社祭典 【気仙沼市】

唐桑半島の突端に位置する御崎神社は、「おさきさん」の名で親しまれています。祭典の宵祭りでは、地元の人々による郷土芸能が披露され、大勢の人出で賑わいます。鏡内に並ぶ出店では、縁起物の「風車」「はじき猿」「さっぱ船」などが販売されます。

◇ 開催日時 平成28年1月9日（土）・10日（日）（9日：宵祭り 18:00～21:00 / 10日：本祭り 9:00～12:00）

◇ 会場 気仙沼市唐桑町崎浜2-3（御崎神社） ◇ 問い合わせ先 唐桑町観光協会 0226-32-3029

け
せ
ん
ぬ
ま

方言パズル

◆ 問①～⑥を意味する気仙沼地方の方言は何でしょうか。
◆ 最後は色付きの枠に入る文字を並べて、言葉を作りましょう。

問① ほぐす。取りこむす。

ぐ す

問② 居眠りのこと。

ね ぶ き

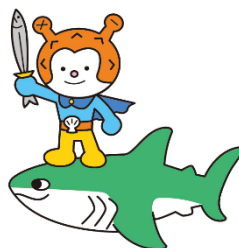
問③ 完全に干上がる。乾燥し切ること。

っ か ら び

問④ 厳しく冷え込む。

し ば

問① 問② 問③ 問④



【ヒント】

気仙沼を代表する特産品。

【編集後記】

◆ 気仙沼生活3年目に突入しました。3度目の冬ですが、今年は暖かいようで、大変ありがたいです。それでは皆さん、良いお年を。

（前号の方言パズルの回答）

問① 掘り出す
お ご ご

問② 居眠り
ら く さ く

問③ 完全に干上がる、乾燥し切る
ざ ぎ っ と す る

問④ 厳しく冷え込む
は か は か す る

問⑤ 船が沈む
お し ょ す い

問⑥ 船が沈む、沈没
ゆ る く ね

問⑦ 船が沈む、沈没
ん だ

問⑧ 船が沈む、沈没
お く と は す く ん

かさ上げ工事など、復興まちづくりが進められる
南三陸町の伊里前地区



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>